

高野實 たかの じつ 労働運動家。明治三十四年一月、十七日東京生れ、昭和四十九年九月十二日歿（一九〇一―七四）。猪俣津南雄、佐野學等と政治運動を興し、大正十一年早稲田大入學、上學部を卒業。昭和九年日本労働組合全國評議會常任理事、十一年人民戦線事件に連坐して下獄。二十二年總同盟（日本労働組合總同盟）總理事、二十七年總評（日本労働組合總評議會）事務局長。二十一年日本共産黨に入黨も、四十一年除名。評論家高野五 たかの いちご、津村喬の父。

著書『灰色の青春―學生社會運動史の側面』（合著・東京大學新聞社編集部編、昭和二十二年一月五日東京大學新聞社出版部）、『危機はここから来る』（合著・吉野源二郎編、昭和二十九年二月二十日厚文社）、『日本の労働運動』（昭和二十二年一月十七日岩波書店『岩波新書』）等。